

■概要

サイバー糖尿病教室は、新しい生活様式に対応し、教育入院などで医療者と患者さん、また、患者さん同士が距離を保ちながら、糖尿病に関する問題を解いて楽しく学習できる教材です。

広い場所でスクリーンを利用する方法、ZoomなどのWeb会議システムを利用する方法など、各施設の状況にあわせてフレキシブルな利用ができるのが特徴です。

医療者は、日本糖尿病協会HPにある「サイバー糖尿病教室」のページにアクセスし、患者さんと画面を共有しながらクイズを出題します。

双方向のコミュニケーションが可能な形で糖尿病教室を展開できますので、通常の糖尿病教室と同様に質疑応答ができ、より深い知識を身につけるのに役立ちます。

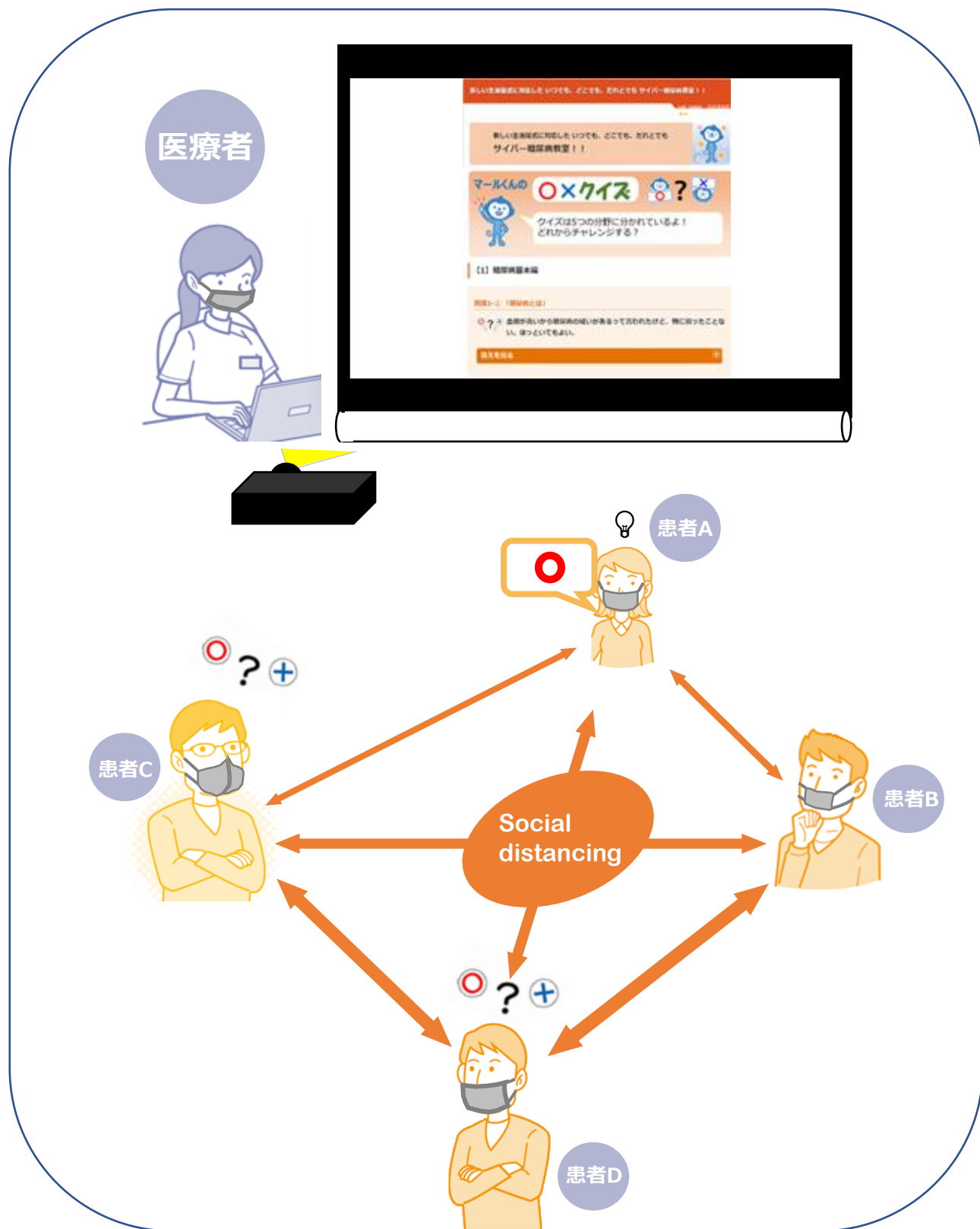
広い部屋で、患者さんに間隔を空けて座ってもらい、スクリーンに投影したサイバー糖尿病教室のクイズを実施する方法です。

■用意するもの

- ・パソコン
- ・プロジェクター, スクリーンまたは、大画面モニターなど
- ・「サイバー糖尿病教室」ページに接続するためのインターネット環境

■実施方法

1. 医療者はパソコンとプロジェクター, スクリーンを用意します
2. 患者さんは密にならないように、プロジェクターが見える位置に座ります
3. 医療者はパソコンから日糖協HPにアクセスし、「サイバー糖尿病教室」のページをスクリーンに投影します
4. 各○×クイズから、医療者が患者さんの関心にあわせて出題します
5. 参加者の解答がそろったところで「答えをみる」ボタンをクリックし、表示された図表を示しながら解説します
6. 問題によって設置されている「さらに考えてみましょう」を使って、参加者に発言を促しましょう
7. 画面右に常時表示されているマールくんをクリックすると「なぞなぞオアシス」にいつでも移動することができます
「なぞなぞオアシス」にはアイスブレイクや途中休憩に適した面白いなぞなぞが用意されています



同じ部屋に集まって「サイバー糖尿病教室」を実施する場合は、
じゅうぶんな感染症対策をおこなったうえで実施をお願いします。

タブレット端末とWeb会議サービスなどを利用することで、医療者と患者さん、患者さん同士が別々の部屋にいても実施できます。

■用意するもの

- ・ Apple iPadシリーズ
- ・ Amazon Kindle Fire HDシリーズ
- など、Web会議サービスに対応したタブレット端末

■必要環境

- ・ Zoomなど画面共有機能のあるWeb会議サービスのアカウント
- ・ 「サイバー糖尿病教室」ページに接続するためのインターネット
- ・ タブレット端末同士をつなぐWiFi環境

■実施方法

1. 医療者と患者さんの人数分の端末を用意します
2. 医療者がWeb会議サービスの管理画面にログインし、開催日時の設定をおこないます
3. 患者さんは、各端末からWeb会議に参加します
4. 医療者の端末で日糖協HP上の「サイバー糖尿病教室」のページにアクセスし、患者さんの端末に画面共有します
5. 各〇×クイズから、医療者が患者さんの関心にあわせて出題します
6. 患者さんの解答がそろったところで「答えをみる」ボタンをクリックし、表示された図表を示しながら解説します
7. 問題によって設置されている「さらに考えてみましょう」を使って、患者さんに発言を促しましょう
8. 画面右に常時表示されているマールくんをクリックすると「なぞなぞオアシス」にいつでも移動することができます「なぞなぞオアシス」にはアイスブレイクや途中休憩に適した面白いなぞなぞが用意されています

医療者



Web会議
サービスの
画面



患者A



患者B



共有



患者C



患者D

